

こども読書活動推進の令和7年度取組実績と令和8年度取組

基本方針Ⅰ こどもの読書機会・環境の充実と読書活動の啓発

資料3

(1)家庭・地域での推進

	ページ	取組	内容	担当課	令和7年度取組内容等	令和7年度取組実績と課題等	取組状況	令和8年度取組内容等	令和8年度取組区分
ア	22	ブックスタート事業	保健師の訪問指導や地区活動等を通じて、啓発に努めます。	子育て支援課	4か月児健康診査においてブックスタートの場を設け、啓発に努めます。 また、家庭訪問等の機会を活用した啓発に引き続き努めます。	保健師の活動の中で、乳幼児期からの絵本を介した親子のふれあいの大切さについて啓発に努めました。家庭訪問等の機会を活用して啓発に努めました。	○ おおむね順調に取り組んでいる	保健師の訪問指導や地区活動等を通じて引き続き啓発に努めます	継続
ア	22		こども支援センターで実施している4か月児健康診査において保護者に乳幼児期からの絵本を介した親子のふれあいの大切さについて伝えます。	中央図書館	4か月児検診後、おにクルぶっくぱーくを利用する流れをつくります。絵本を介した親子のふれあいの重要性を伝えます。	検診時の待合時間でボランティアによる読み聞かせを実施し、親子に絵本との関わりの大切さを伝えました。絵本配布時に図書館の利用案内等を配布し、4か月児健診後図書館を利用する流れをつくることができました。今後も配布率を高められるよう、周知に努めます。 ブックスタート36回 2,116冊 配布率96.9%	○ おおむね順調に取り組んでいる	4か月児健康診査においてブックスタートの場を設け、啓発に努めます。また家庭訪問等の機会を活用した啓発に引き続き努めます。	継続
イ	22	読み聞かせ会・講演会・講座の開催	生涯学習センターきらめきでは、中央図書館と連携し、本を身近に感じ読書に親しむきっかけづくりとなる事業を検討・企画します。	文化振興課	図書館コラボのコーナーを企画し、読書が推進されるように努めます。	きらめきフェスタのおはなし会では30人の参加があり、子どもたちに本に触れてもらう機会を提供できました。きらめきフェスタにおいて、中央図書館と連携し、おはなし会ボランティアによる「おはなし会」「移動図書館」「リサイクル図書配布」に加えて、7年度初めて「えほんひろば」「スタンプラリー」を実施しました。	○ おおむね順調に取り組んでいる	引き続き中央図書館と連携し、きらめきフェスタにおいておはなし会ボランティアによる「おはなし会」「移動図書館」「リサイクル図書配布」「えほんひろば」「スタンプラリー」を実施します。	継続
イ	22		男女共生センターローズWAMでは、絵本の読み聞かせを実施します。	人権・男女共生課	保育実施時に実施するとともに読み聞かせ登録サークルの事業実施に協力します。	(愛センター)おにクル等、さまざまな会場で多言語読み聞かせを実施しました。留学生など新たに参加いただける方も徐々に増えてきました。参加者58人(WAM)保育の一環として読み聞かせを実施しました。 一時保育利用人数331人	○ おおむね順調に取り組んでいる	(愛センター)新たな参加者が増えるよう周知方法等、引き続き検討します。(WAM)引き続き一時保育実施時にニーズに合わせて読み聞かせを実施します。	継続
イ	22		おはなし会ボランティアの派遣を利用しておはなし会の機会を設けます。	学童保育課	おはなし会ボランティアの派遣を利用し、こどもたちの想像力やことばの力を育み、読書活動につながる機会の創出に努めます。	公立学童保育室12か所で、合計19回のおはなし会ボランティアの利用を行い、こどもたちの読書への関心を深める機会を創出しました。こどもたちの読書活動促進のため、読書に親しむ機会を増やすことが必要です。	○ おおむね順調に取り組んでいる	令和8年度は、おはなし会ボランティアの利用を合計20回行い、令和9年度にはこどもたちが読書にかかわる機会のさらなる創出に向けて、実施回数の増加のため関係機関との連携に努めます。	継続
イ	22		各公民館では、おはなし会ボランティアの派遣も活用しながら、読み聞かせ事業を推進していきます。 上中条青少年センターでは、子どもセミナーを通じて絵本と関わりをもつ機会の提供に努めます。	社会教育振興課	公民館でも、読み聞かせ等の講習会の実施を通じて、子どもの読書活動推進に向けた働きかけを、引き続き行います。 引き続き、絵本作りの講座を実施し、こどもたちが絵本と関わりを持つことができる機会の提供に努めます。	公民館では、計画されていた読書に関する講座・講習会は5館で開催され、こどもが読書をする機会を提供できました。 子どもセミナーにおいて、4回の講座を実施し、54名のこどもたちに、絵本との関わりを持つ機会を提供することができました。	○ おおむね順調に取り組んでいる	公民館でも、読み聞かせ等の講習会の実施を通じて、子どもの読書活動推進に向けた働きかけを、引き続き行います。 引き続き、絵本作りの講座を実施し、こどもたちが絵本と関わりを持つことができる機会の提供に努めます。	継続
ウ	23	こどもの本のコーナーの充実	生涯学習センターきらめきでは、リサイクル図書を活用し「乳幼児及び小学生向け書籍コーナー」を充実させるとともに周知・PRを行います。	文化振興課	生涯学習センターの1階交流コーナーにおいて「乳幼児及び小学生向け書籍コーナー」を継続して取り組み、読書が推進されるように努めます。	リサイクル図書の充実を図り、更なる利用の拡大を図る必要があります。生涯学習センターきらめきでは、リサイクル図書を活用し「乳幼児及び小学生向け書籍コーナー」を充実させるとともに周知・PRを行いました。	○ おおむね順調に取り組んでいる	リサイクル図書を活用し、「乳幼児及び小学生向け書籍コーナー」を充実させるとともに周知・PRを引き続き行います。	継続
ウ	23		男女共生センターローズWAMでは、本の収集を行うとともにブックガイド等での広報に努めます。また講演会や講座開催に合わせて書籍の展示を実施します。	人権・男女共生課	講演会や講座に関連する本を展示するとともに毎月テーマを決めて実施している展示にちなんだ本の展示を行います。また、ブックガイドやSNSで本の紹介を行います。	講演会・講座関連本や毎月のテーマ展示に加え、本センターに職業体験に来た中学生にお薦め本を選んでもらい、その本をPRするPOPを作ってもらって本とともに展示しました。 職場体験来校数2校 参加生徒12人	○ おおむね順調に取り組んでいる	社会の関心や事業と関連した本の示や紹介を行います。紹介の方法についてさらに研究してまいります。	継続
ウ	23		いのち・愛・ゆめセンターでは、リサイクル図書を活用して館内のこどもの本を充実させます。	人権・男女共生課	リサイクル図書の活用により、館内のこどもの本を充実させるため、図書のリサイクルや寄附等の協力依頼について、ホームページ等で周知します。	地域の方々から寄附や購入等により、図書の充実を図ることができました。利用者増に向けて、更なる周知が必要となっています。引き続き当センターの設置趣旨に沿った内容かつ子供向けの選書を行い、本に親しんでいただくことができました。	○ おおむね順調に取り組んでいる	各館の相互利用ができるようにすることも含め、各館の本の紹介等の周知に引き続き努めます。	継続
ウ	23		市役所窓口(南館3階)のこどもの本コーナーや多世代交流センターのこどもの本の充実を図ります。	こども政策課	こどもが本に触れる機会を増やせるよう、引き続き市役所南館3階「本のコーナー」に、「おもしろい本みつけた」の冊子や図書館の開館日カレンダーを配架します。	こどもが本に触れる機会を増やせるよう、引き続き市役所南館3階「本のコーナー」に、「おもしろい本みつけた」の冊子や図書館の開館日カレンダーを配架しました。	○ おおむね順調に取り組んでいる	子どもが本に触れる機会を増やせるよう、引き続き市役所南館3階「本のコーナー」に、「おもしろい本みつけた」の冊子や図書館の開館日カレンダーを配架します。	継続
ウ	23		団体貸出や移動図書館の利用により、学童保育室のこどもの本の充実に努めます。	学童保育課	春と秋に図書館作成のブックリスト「おもしろい本みつけた」を各学童保育室に配付します。 本の購入や中央図書館との連携により、こどもたちのための本の充実に努めます。	春と秋に図書館作成のブックリスト「おもしろい本みつけた」を各学童保育室に配付し、新たな本の購入に活用するとともに、団体貸出や移動貸出を利用することで、読書習慣化の向上に努めました。	○ おおむね順調に取り組んでいる	引き続き、団体貸出や移動貸出を利用することで、読書の習慣化に努めます。	継続
ウ	23		上中条青少年センターでは、利用者に興味をもってもらえるような本の充実に努めます。	社会教育振興課	引き続き、利用者に興味を持ってもらえるよう図書の充実に努めます。	利用者に興味を持ってもらえるよう、新たに37冊の図書を購入し、図書コーナーの充実に努めました。	○ おおむね順調に取り組んでいる	引き続き、利用者に興味を持ってもらえるよう図書の充実に努めます。 また、当施設で本の取扱いや貸出がある旨を、学校周りを中心に周知していきます	継続

こども読書活動推進の令和7年度取組実績と令和8年度取組

	ページ	取組	内容	担当課	令和7年度取組内容等	令和7年度取組実績と課題等	取組状況	令和8年度取組内容等	令和8年度取組区分
エ	23	本市にゆかりのある作家と作品の紹介・普及	川端康成文学館では、中高生向けの講座やこども向け行事を通して周知に努めます。	文化振興課	川端康成文学館では、中高生向けの文学講座や夏休みのこども向け企画を通して、周知に努めます。また新規事業として、小学生向けに、川端康成の小中学校時代を知るための冊子を作成する予定です。	中高生向け講座は毎年恒例となり、受講者にも好評です。夏休みの企画展示や行事は、市内全児童・生徒へ個別にチラシを配布しており、チラシを見ての来館者も多くありました。こども向け冊子は今年度から活用していきます。中高生向けの講座では、川端康成の中学時代の読書をテーマとする講話を行いました。夏休みにはこどもむけの展示・クイズのほか、絵本作りのワークショップを実施しました。また、こども向け冊子『川端康成の少年時代』を作成しました。	○ おおむね順調に取り組んでいる	引き続き講座や展示、行事を通して、茨木市と川端康成の関係、作家川端についての周知につとめます。またこども向け冊子を活用した展示や行事を行います。	継続
エ	23		富士正晴記念館では、こども向けイベントを通して周知に努めます。	中央図書館	本市にゆかりのある作家・作品に関して、情報収集を行い、図書館にある本を活用して定期的の特集をするなど、周知に努めます。	富士正晴記念館では11月に、「クイズ！富士正晴」を開催し、こどもたちに富士正晴を知ってもらうことができました。2日間 参加人数 計119人(うちこども62人)	◎ 順調に取り組んでいる	クイズや塗り絵などこども向けの行事を開催し、富士正晴についてこどもたちにわかりやすい情報提供に努めます。	継続
オ★	23	日本語を母語としないこどもへの取組	多言語読み聞かせを市内施設で開催し、日本語を母語としないこどもへの読書機会の普及に努めます。	人権・男女共生課	多言語読み聞かせに対応できる人材の発掘や育成に努めます。	おにクルぶっくばーくにて多言語読み聞かせを開催し、日本語を母語としないこどもへの読書機会の普及に努めました。5/1,7/3,9/4,11/6,1/11に実施 参加人数:延べ104人	○ おおむね順調に取り組んでいる	多言語読み聞かせを市内施設で開催し、日本語を母語としないこどもへの読書機会の普及に努めます。	継続
カ	23	その他	各学童保育室では、本の紹介や読み聞かせについての情報収集を行い、こどもが本に親しみ、読書への興味が深まるように取り組みます。また、校外保育で図書館を利用するなど本に親しむ機会の充実に努めます。	学童保育課	図書館作成のブックリスト「おもしろい本みつけた」を配付し、情報収集に努めるとともに、おはなし会ボランティアの派遣や校外保育での図書館利用など、本に親しむ機会の充実に努めます。	春と秋に図書館作成のブックリスト「おもしろい本みつけた」を各学童保育室に配付するとともに、おはなし会ボランティアの派遣を合計19回利用することで、読書への興味を深めることができました。また、校外保育で最寄りの図書館を学童保育室が利用し、本に親しむ機会の創出に努めました。	○ おおむね順調に取り組んでいる	図書館作成のブックリスト「おもしろい本みつけた」を各学童保育室に配付するとともに、おはなし会ボランティアの派遣や校外保育での図書館利用など、読書への興味を深める機会の創出に努めます。	継続
カ	23		ふれあいルームの活動時間に市立図書館を利用したり、団体貸出を活用したり、読書に親しむ機会をつくります。	教育センター	ふれあいルームの活動時間に、市立図書館やおにクルぶっくばーく、団体貸出を利用し、読書に親しみます。	ふれあいルームの活動時間に、市立図書館やおにクルぶっくばーくを12回利用(毎月1回)し、読書に親しみました。	◎ 順調に取り組んでいる	ふれあいルームの多くの子どもたちが利用できる曜日に市立図書館やおにクルぶっくばーく、団体貸出を利用し、読書に親しみます。	拡充

(2) 保育所(園)・幼稚園・認定こども園等での推進

ア	24	読書の習慣化への取組	保育所(園)・幼稚園・認定こども園では、親子で絵本を借りる機会を定期的に設けたり、こどもの絵本との関わりを保護者に知らせたりすることにより、家庭での読み聞かせを親子で楽しめる取組を実施します。	保育幼稚園総務課	絵本貸出の様子やこどもが1冊の絵本を手取るまでの過程を写真やおたよりなどを通じて保護者に知らせます。絵本を通して親子の関わりをもてるよう親子での絵本貸出の機会を設けます。	園、所において、読み聞かせや絵本の貸し出し等、こどもたちが絵本に触れる活動や様子などを便り等で知らせ、こどもと保護者が一緒に絵本に親しむことができるような啓発に努めました。	◎ 順調に取り組んでいる	引き続き、読み聞かせや絵本の貸し出しでのこどもたちの絵本への興味関心を深めていけるように努めます。また、その様子を保護者にも伝え、保護者もこどもと一緒に絵本に触れたり興味関心がもてるように働きかけます。	継続
イ	24	こどもの本の選定・収集の充実	絵本や視覚教材(紙芝居やパネルシアター[1]など)に関する研修会に積極的に参加し、時代のニーズに応じた情報収集を行います。人気のある絵本について保護者からの意見を参考にするとともに図書館と連携し、保護者や地域を巻き込んだ取組を実施します。	保育幼稚園総務課	絵本貸出の中でこどもに人気のある絵本をリサーチしたり時代のニーズに応じた絵本について情報収集するなど、絵本の選定に努めます。園・所の近隣の図書館や移動図書館などを利用した際には、その様子を保護者に伝え地域の施設に興味関心をもってもらうように努めます。	絵本貸出カードを参考にこどもの興味や関心のある絵本をリサーチしたり年齢や季節等に合わせた絵本を取り入れる等、計画的に環境を整えました。また、時代のニーズに応じた絵本、今まで教育・保育の中で大切にしてきた絵本についてもこどもたちが楽しめるように整えました。	○ おおむね順調に取り組んでいる	絵本貸し出しの状況や、こどもの興味関心、年齢等、また、保護者からの声なども含め、視野を広げながら取り入れていけるように努めます。園所では触れることができない絵本と出会えるよう、近隣、市内の図書館等の利用についても引き続きすすめます。	継続
ウ	24	配慮(支援)を要するこどもへの読書環境の整備・読書機会の提供	児童発達支援センターあけぼの学園では、絵本の読み聞かせだけでなくパープサートやエプロンシアターなど個人に応じた環境づくりを工夫します。	発達支援課	児童発達支援センターあけぼの学園では、絵本の読み聞かせだけでなくパープサートやエプロンシアターなど個人に応じた環境づくりに努めます。	児童発達支援センターあけぼの学園では、絵本の読み聞かせだけでなくパープサートやエプロンシアターなど個人に応じた環境づくりに努めました。	◎ 順調に取り組んでいる	児童発達支援センターあけぼの学園では、絵本の読み聞かせのほか、パープサートやパネルシアター、音楽を取り入れた紙芝居など引き続き個人の興味・関心を引き出す取組を進めます。	継続
★	24		保育所(園)・幼稚園・認定こども園では、小集団での読み聞かせを行ったり、タブレットなどのデジタル教材や感触を楽しむような絵本を取り入れるなど、配慮(支援)を要するこどもが興味関心をもてるような環境づくりや絵本選びに努めます。	保育幼稚園総務課	絵本や視覚教材などの選定において、デジタル教材や感触を楽しむような絵本を取り入れるよう努めます。配慮を必要とするこどもが落ち着いて読書活動を楽しめるような環境づくりに努めます。	触りながら楽しめる絵本や音の出る絵本等活用できるよう努めました。デジタル機器の活用についても検討中です。各園で、落ち着いて絵本に触れやすい環境を整えながら、個々のこどもの興味関心のある絵本の読み聞かせができるよう努めました。	○ おおむね順調に取り組んでいる	こども一人一人の絵本への興味関心が広がるように、触ったり音を聴いたりする絵本とともに、デジタル教材を使いながら絵本に触れる活動(大きい画面で見る等)についても検討し、取り組めるよう努めます。	継続
エ★	24	日本語を母語としないこどもへの取組	保育所(園)・幼稚園・認定こども園では、保護者や図書館と連携して日本語を母語としないこどもの母国語の絵本の活用を進めます。またその国の身近な言葉や遊び、食べもの等をこどもたちと共有し相互理解を深めます。	保育幼稚園総務課	保育環境の中に様々な言語の絵本や表示、視覚教材などを取り入れます。	必要に応じた言語の絵本や表示、視覚教材等を取り入れられるよう工夫しました。	○ おおむね順調に取り組んでいる	引き続き、必要に応じた言語の絵本や表示、視覚教材等を取り入れながら、お互いのことを知り、理解が深まるように努めます。	継続
オ	24	保育所幼稚園と小学校接続期での取組	保育所(園)・幼稚園・認定こども園の園児と小学校1年生のおはなし交流の機会を設定します。	保育幼稚園総務課	園・所と小学校の交流において、絵本の読み聞かせの機会を設けられるよう連携を進めています。	園所、小学校の交流の中で、絵本を活用できる内容について検討をすすめています。	△ やや取り組みに遅れている	園所、小学校の交流で、絵本を活用した内容についても提案できるように努めます。	継続

こども読書活動推進の令和7年度取組実績と令和8年度取組

	ページ	取組	内容	担当課	令和7年度取組内容等	令和7年度取組実績と課題等	取組状況	令和8年度取組内容等	令和8年度取組区分
(3)学校での推進(学校教育推進課)									
ア	25	小・中学校における読書の習慣化への取組	情報活用能力の育成をめざし、学校図書館モデル校が授業の中で学校図書館の資料を活用した公開授業を毎年実施します。また、図書館を使った調べる学習コンクールを開催し、図書館の利用機会を増やします。	学校教育推進課	言語能力をはぐくむモデル校の2校が公開授業を行い、言語能力や情報活用能力の育成、学校図書館の活用についても発信します。「茨木市図書館をつかった調べる学習コンクール」を開催し、全国コンクールにも応募します。	言語能力をはぐくむモデル校が、公開授業において、学校図書館を中心に据えた実践報告を行いました。市立図書館と共催で、「茨木市 図書館を使った調べる学習コンクール」を開催し、190点の応募があり、うち、3点を全国コンクールへ出展しました。(前年度は456点)	◎ 順調に取り組んでいる	モデル校の公開授業や実践発表を通して、市内へ学校図書館活用の普及を図ります。また、「図書館を使った調べる学習コンクール」を継続実施し、情報活用能力や探究的な学びの充実につなげます。	継続
イ	25	こどもの本の選定・収集の充実	調べ学習や授業関連の本を収集するとともに、児童・生徒のリクエストを考慮しながら本の選定・収集の充実に努めます。	学校教育推進課	児童生徒からのリクエスト等も考慮しながら、蔵書の充実を図るとともに、物流サービスを活用し、他校や公共図書館の図書も活用します。また、司書教諭やメディアサポーターの交流をとおし、よりよい図書館環境について情報交流できる場を設定します。	物流サービスについては、物流回数15回で年間440回、18,099冊の活用がありました。(前年度は物流回数15回で年間445回、19,475冊)司書教諭に向けて百科事典の活用やメディアサポーターのおすすめの絵本等の交流等を図ることができました。引き続き児童生徒の興味・関心や授業内容に応じた蔵書が必要です。	○ おおむね順調に取り組んでいる	物流サービスや公共図書館との連携を活用しながら、授業や読書活動に活用できる蔵書の充実を図ります。また、司書教諭等連絡会を通して、学校図書館環境の充実や選書について交流を進めます	継続
ウ★	25	障害のあるこどもへの読書機会の提供	障害のあるこどもたちの読書状況を把握し、全てのこどもたちの読書を推進する手立てを検討します。	学校教育推進課	司書教諭連絡会等で、全ての子どもが興味・関心を高め、楽しみながら読書できるようにするために考える機会をつくります。	司書教諭連絡会等において、誰もが読書に親しめる学校図書館づくりについて交流を行いました。一方で、読みやすさや利用しやすさに配慮した図書や環境整備については、引き続き検討が必要です。	○ おおむね順調に取り組んでいる	司書教諭連絡会等において、読書バリアフリーの視点を踏まえた学校図書館づくりについて交流し、誰もが読書に親しめる環境整備を推進します	継続
エ	25	学校図書館運営体制の充実	各学校の司書教諭・スクールサポーター・学校図書館ボランティア等が連携強化できるよう、市内学校の情報共有システムの活用の仕組みを工夫します。	学校教育推進課	図書館に係る職員が図書管理システムを活用し交流できるようにします。	メディアサポーター研修において、学校図書館の役割や読書活動の推進について交流を行いました。また、図書管理システムを活用した情報共有を進めることで、学校間での連携を図りました。引き続き、学校図書館に関わる人材同士の連携強化が必要です。	○ おおむね順調に取り組んでいる	学校図書館に関わる職員同士が情報共有できる場を設定し、図書管理システム等も活用しながら、学校図書館運営体制の充実を図ります。	継続
オ★	25	デジタル化に関する取組	学校で支給している一人一台端末を利用した電子書籍への対応などを検討するとともに、デジタル情報との関わり方をこどもたちが自ら考えられるよう取り組みます。	学校教育推進課	専門家の助言のもと、スマホサミットや出前授業を通してデジタル情報との関わり方をこどもたちが自ら考えられるよう取り組みます。	専門家の助言のもと、スマホサミットを3回実施しました。また、ネットリテラシーに関する出前授業を小学校10校、中学校10校で行うなど、それらを通してこどもたちが自らデジタル情報との関わり方を考えられる機会の充実を図りました。	○ おおむね順調に取り組んでいる	令和8年度は電子図書館サービス導入初年度となることから、各校に対して活用促進を図るとともに、紙媒体・電子媒体双方の特性を踏まえた読書活動の充実に努めます。	継続

こども読書活動推進の令和7年度取組実績と令和8年度取組

	ページ	取組	内容	担当課	令和7年度取組内容等	令和7年度取組実績と課題等	取組状況	令和8年度取組内容等	令和8年度取組区分
(4)市立図書館での推進(中央図書館)									
ア★	26	こどもの本の選定・収集の充実・提供	年齢に応じた本など幅広くこどもの本を収集・提供します。児童書と一般書の区別なく中高生向けの本を充実させ、電子書籍についても、さらなる活用に向けて資料の充実と周知に努めます。	中央図書館	こどもの興味関心のある資料や、年齢・季節に応じた資料を精選し、より本に親しめる環境づくりに努めます。 10代向け「イバハルコーナー」については、より利用されるよう、周知及び資料の充実に努めます。 電子書籍については、引き続き利用実態を検証し、収集更新を行い充実を図ります。	こどもの興味関心のある資料や、年齢・季節に応じた資料を計画的に選定・収集し、入替を行いました。また、10代向け「イバハルコーナー」についても、資料の充実を図りました。 電子書籍については、収集更新を行い、こども向けの調べ物の本33冊、中高生向けの読み物143冊を新たに受け入れました。	○ おおむね順調に取り組んでいる	こどもの興味関心のある資料を精選し、本に親しめる環境づくりに努めます。また、年齢・季節に応じた資料を幅広く揃え、求める資料をすぐに提供できる体制をめざします。 10代向け「イバハルコーナー」については、より利用されるよう、書架での見せ方及び資料の充実に努めます。 電子書籍については、読み放題を導入し、利用促進に努めます。	拡充
イ	26	移動図書館による巡回	市立図書館や分室から離れた地域の巡回や、市内のイベントにも出動し、読書の機会を提供します。	中央図書館	図書館から離れた地域を巡回し、市内全域で図書館を利用できる環境整備に努めます。また、イベントやこどもの集まる場所に巡回し、読書の機会を提供します。	イベントに出動した際に、面展台を使用して絵本の紹介、クイズを実施しました。予約が多いものや、よく読まれるつばさ文庫などを多めにそろえ、興味関心のある資料収集に努めました。 移動図書館のイベント参加回数:7回	○ おおむね順調に取り組んでいる	継続して、市立図書館や分室から離れた地域に巡回するとともに、市内のイベントに出動し、図書館について周知するとともに読書機会の提供に努めます。	継続
ウ	26	ブックリストの作成・配布	0歳～高校生までの年齢に応じたおすすめ本を紹介する「おもしろい本みつけた!」や中高生向けの本の情報提供に努めます。	中央図書館	0歳～高校生までの年齢に応じたおすすめ本を紹介する「おもしろい本みつけた!」や中高生向けの本の情報提供に努めます。	こども向けの新作を紹介する「おもしろい本みつけた!」を2回(春夏号、秋冬号)、また、中高生からおすすめの本を募集してまとめた「中高生の推し本」を作成し、本の情報提供に努めました。	○ おおむね順調に取り組んでいる	引き続き、こども向けの新作を紹介する「おもしろい本みつけた!」や、茨木市の中高生が推薦する本を集めた「中高生の推し本」等ブックリストの作成・配布を行い、本の情報提供に努めます。	継続
エ	26	こどもの読書に関する相談	問い合わせの多い内容などはリストを作成し多様なテーマの特集を行います。図書館ホームページの「こども向け調べものリンク集」を随時見直し、更新します。	中央図書館	問い合わせの多いテーマなど、レファレンス対応がスムーズにできるよう本のリストを作成して職員で共有し、ホームページに掲載するなど活用されるよう工夫します。「こども向け調べものリンク集」について、随時見直しを行い、更新します。	問い合わせの多いテーマや季節の本など、特集コーナーの設置に合わせて本のリストを作成し、ホームページに掲載しました。「こども向け調べ物リンク集」の見直しに向けた情報収集を行いました。	○ おおむね順調に取り組んでいる	問い合わせの多いテーマなど、レファレンス対応がスムーズにできるように本のリストを作成して職員で共有し、ホームページに掲載するなど活用されるよう工夫します。「子ども向け調べものリンク集」について、定期的に見直しを行い、更新します。	継続
オ	26	「おはなし会」の充実	図書館・学校園等市内各施設およびイベントでのおはなし会を開催し、幅広く様々な場所でおはなしに触れられるよう努めます。	中央図書館	図書館で定期的なおはなし会を行うとともに、適切な時間帯や開催時間等の検証を引き続き行います。また、周知方法も検討します。	中央図書館・分館で、おはなし会を実施しました。また昨年度に引き続き私立の保育所(園)等へのおはなし会ボランティアの派遣を実施しました。新規の派遣先に行ったことで増加しました。 開催回数 中央・分館 126回 2,542人 派遣 177回 12,007人(うち新規 3園)	○ おおむね順調に取り組んでいる	引き続き保育所(園)・幼稚園・認定こども園・学校でのおはなし会を実施するとともに、イベント等でもおはなし会を実施します。保育所(園)や学校・学童など、こどもたちが在籍する場所でのおはなし会の周知に努めます。	継続
カ	26	講座・こども向け行事等の開催	市立図書館を利用したことがないこどもや保護者の利用のきっかけになるような取り組みを各市立図書館で行います。周知方法や講座内容は適宜検討します。	中央図書館	保護者とこどもが一緒に参加できる講座や、図書館を利用したことがないこどもの来館のきっかけになるような行事を各図書館で開催します。	中央・各分館で、保護者とこどもが一緒に参加できる読み聞かせ講座や工作などの行事を開催し、利用したことがないこどもの来館のきっかけづくりを行いました。 ・ブックスタートフォローアップ読み聞かせ講座 2回 計 53人 ・こどもの読書にかかわる人材育成のための講座 1回 23人 ・多言語おはなし会 5回 計 101人 ・読書感想文の書き方講座 1回 38人 ・こどもの本交換会 12回 計 841人 ・工作・クイズ等イベント 29回 計 3,089人	○ おおむね順調に取り組んでいる	保護者とこどもが一緒に参加できる講座や、図書館を利用したことがないこどもの来館のきっかけになるような行事を各図書館で開催します。	継続
キ	26	こども向け広報の充実	ちらしやポスター以外に図書館ホームページやSNSを活用するとともに、新たな周知方法を検討します。	中央図書館	ポスターの掲示やちらしの配布について学校園等に協力を依頼するとともに、市立図書館ホームページや市ホームページ、市公式SNS等を利用し図書館の案内や行事のお知らせについて幅広く周知します。また、こどもに向けた効果的な情報発信の方法について検討します。	ポスターの掲示やちらしの配布について学校園等に協力を依頼するほか、市立図書館ホームページや市ホームページ、SNSを利用しイベントの周知に努めました。また、図書館ホームページのリニューアルを行い、こども向けのイベントや本の紹介についてアクセスしやすくなりました。	○ おおむね順調に取り組んでいる	ちらしの配布については、引き続き学校園やつどいの広場等々に協力を依頼し、図書館に来館しないこどもや保護者への周知を行います。また、図書館ホームページや広報いばらき、市公式SNSを利用して、こども向けの行事案内を充実しつつ、こどもや保護者に伝わりやすい情報発信の方法について検討します。	継続
ク★	27	すべてのこどもが利用しやすい環境づくり	母語が日本語でないこども向けの外国語絵本の収集を行います。また、外国語での読み聞かせやおはなし会の開催については、多くのこどもたちが参加できるように実施方法を検討します。障害のあるこども向けの点字絵本、やさしい日本語で書かれたLLブックのほか電子書籍を充実させるとともに情報提供に努めます。	中央図書館	多言語絵本の収集について、引き続き中央・分館で購入し、充実を図ります。さらに、多言語絵本を活用し、国際交流関係の市内団体との連携事業を実施します。 LLブックやこども向けデジジー、電子書籍について、ホームページやSNSを活用して、周知や利用促進に努めます。	多言語絵本について、中央・分館で、14言語、140冊の外国語絵本を購入しました。多言語のおはなし会はおにクルぶつくばーくに加え、穂積図書館、庄栄図書館でも開催したほか、多言語調べもの講座、絵本やゲームを通じて外国語に触れるイベントを開催しました。 今年度新たに、中央・穂積で点字えほんやLLブックなどを置く「りんごの棚」を設置しました。未設置の館もあるため、全分館での設置に向け、動いていく必要があります。	○ おおむね順調に取り組んでいる	引き続き多言語絵本の収集について、中央・分館で購入し、充実を図ります。さらに、多言語絵本を活用し、国際交流関係の市内団体との連携事業を実施します。 LLブックやこども向けデジジー、電子書籍について、ホームページやSNSを活用して、周知や利用促進に努め、りんごの棚の設置を進めます。	拡充
ケ	27	本市にゆかりのある作家と作品の紹介・普及	郷土の作家をこどもたちに身近に感じてもらうため、情報収集を行い、幅広く紹介し、親しむ機会を提供します。	中央図書館	現在活躍している本市にゆかりのある作家と作品について情報収集を行い、こどもたちの興味関心を高める情報提供に努めます。	10月に開催したBOOK TRAVEL 2025では本市ゆかりの作家や作品について出題する文学クイズを実施し、大人含め計273人の参加がありました。11月にはイベント「クイズ! 富士正晴」を行い、62名のこどもが参加しました。また、茨木市出身の作家川口俊和さんを招いたトークショー「コーヒーが冷めないおにトーク」を行いました。	○ おおむね順調に取り組んでいる	郷土の作家・作品に関するイベントについて情報収集を行い、特集コーナーを設置するなどして図書館で周知に努めます。またこども向けのクイズやイベントを実施するなど、郷土の作家たちについて幅広く紹介し、親しむ機会を提供します。	継続

こども読書活動推進の令和7年度取組実績と令和8年度取組

	ページ	取組	内容	担当課	令和7年度取組内容等	令和7年度取組実績と課題等	取組状況	令和8年度取組内容等	令和8年度取組区分
2 基本方針Ⅱ 関係機関の連携と人材の育成									
(1)関係機関の連携									
ア	28	団体貸出の利用促進	地域でこどもが集まる施設や学校園への市立図書館の本の団体貸出や、団体向けのセット貸出、中央図書館と小・中学校を巡回する物流サービスを周知し、利用促進に努めます。	中央図書館	保育所(園)・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校・高等学校・つどいの広場・子育てサロンに対し団体貸出セットの活用方法についてまとめた資料を配布し、利用促進に努めます。	幼稚園・保育所(園)・学校等、合計68の団体に10,948冊の貸出を行いました。引き続き、図書のセット貸出について広く周知を行う必要があります。	○ おおむね順調に取り組んでいる	図書館ホームページでPRするとともに、保育所(園)・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校に対し団体貸出セットの活用方法についてまとめた資料を配布します。	継続
イ	28	ブックリストの活用	市立図書館司書が年齢に応じたおすすめ本を紹介する「おもしろい本みつけた！」等をさまざまな施設に配布します。	中央図書館	市立図書館司書が年齢に応じたおすすめ本を紹介する「おもしろい本みつけた！」等をさまざまな施設に配布します。	保育所・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校・高等学校の他、つどいの広場や子育てサロンに配布しました。BOOK TRAVELやこどもの本交換会などのイベントでも配布しました。	○ おおむね順調に取り組んでいる	引き続き保育所(園)・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校・高等学校の他、つどいの広場や子育てサロンに全館的に配布します。加えて全館のこども読書に関わるイベントでも配布します。	継続
ウ	28	読み聞かせやおはなし会の開催	保育所(園)・幼稚園・認定こども園、学校、市内でのイベント等こどもの集まる場所で、ボランティアによるおはなし会を実施します。また開催等の情報提供に努めます。	中央図書館	引き続き保育所(園)・幼稚園・認定こども園・学校でのおはなし会を実施するとともに、イベント等でもおはなし会を実施します。また、開催についての情報提供の方法を検討し、周知に努めます。	校園長会、公民館館長会で、おはなし会ボランティア派遣についての周知に努めました。私立保育所(園)にも周知をしました。開催の周知については、チラシの配布や広報いばらき、地域情報サイトに定期的に記事掲載をしました。各所におはなし会ボランティアを派遣し、読み聞かせを行いました。	◎ 順調に取り組んでいる	引き続き保育所(園)・幼稚園・認定こども園・学校でのおはなし会を実施するとともに、イベント等でもおはなし会を実施します。また、開催についての情報提供の方法を検討し、効果的な周知に努めます。	継続
エ	28	市立図書館の見学、職場体験	市立図書館で保育所(園)・幼稚園・認定こども園、学校等からの見学を受け入れ、図書館の使い方を周知します。中学校からの職場体験を受け入れ、業務を体験し市立図書館を身近に感じてもらい本に親しむ機会を提供し、読書への関心を高めます。	中央図書館	中央図書館と4つの分館で、保育所(園)・幼稚園・認定こども園、学校等からの見学を受け入れ、来館したこどもたちに利用案内・館内見学を実施し、図書館の使い方を周知します。また、中学校からの職場体験を受け入れ、業務を体験してもらう中で、市立図書館を身近に感じ、本に親しむ機会を提供し読書への関心を高めます。	中央図書館と4つの分館で、保育所(園)・幼稚園・認定こども園、学校等からの見学を受け入れ、来館したこどもたちに図書館の利用方法を周知しました。また、中学生の職場体験を受け入れ、図書館の業務を体験してもらいました。利用カードを作成し、実際に図書館に足を運んで利用体験や業務体験をしてもらうことで、こどもたちに図書館を身近に感じてもらい、本に親しむ機会を提供することができました。	○ おおむね順調に取り組んでいる	引き続き、保育所(園)・幼稚園・認定こども園、学校等からの見学を受け入れ、利用方法を周知します。また、中学校の職場体験を受け入れ、業務体験によって利用方法を知り、読書への関心を高めつつ、図書館を身近に感じてもらい、本に親しむ機会を作ります。	継続
オ	28	学校と市立図書館との連携	「茨木市図書館を使った調べる学習コンクール」に、より多くの小中学校が参加するよう呼びかけを行い、市立図書館では入賞作品の展示を行います。 「学校と公共図書館ねっとわーくプラン」に基づき市立図書館司書が学校訪問を行い、情報提供や意見交換、相談に応じます。司書教諭やスクールサポーターの連絡会に出席し、学校での取組について情報収集を行います。	中央図書館	「茨木市図書館を使った調べる学習コンクール」の入賞作品の展示を市内各館で行います。 「学校と公共図書館ねっとわーくプラン」に基づき市立図書館司書が学校訪問を行い、情報提供や意見交換、相談に応じます。また、司書教諭やメディアサポーターの連絡会に出席し、学校での取組について情報収集を行います。	学校と連携して「第8回茨木市図書館を使った調べる学習コンクール」を開催しました。また中央図書館では「図書館を使いこなそう講座」の中でこども向けの本の探し方を説明し(2回、11人)、分館でもこども向けの本の探し方講座を開催しました(4回、18人)。図書館職員が学校図書館を訪問し、情報提供や意見交換を行いました。【訪問数】小学校27校(うち電話2校、書面1校) 中学校9校(うち電話1校) また、メディアサポーター研修会に職員が参加し、情報提供や交流を行いました。学校図書館担当教職員やメディアサポーター対象に「ねっとわーくだより」を1回発行しました。第14号の内容:「第3次茨木市こども読書活動推進計画改定版について」	○ おおむね順調に取り組んでいる	「茨木市図書館を使った調べる学習コンクール」に、より多くの児童・生徒が参加するよう呼びかけを行い、市立図書館では入賞作品の展示を行います。 「学校と公共図書館ねっとわーくプラン」に基づき市立図書館司書が学校訪問を行い、情報提供や意見交換、相談に応じます。司書教諭やメディアサポーターの連絡会に出席し、学校での取組について情報収集を行います。	継続
カ	29	ボランティアグループ等との連携	こどもの読書に関わる地域団体やボランティアについて情報収集を行い、連携してネットワークづくりに努めます。	中央図書館	こどもの読書にかかわる地域団体、ボランティアについて情報収集を行い、連携してネットワークづくりに努めます。	朗読や読み聞かせのグループ等についての情報収集は進んでいません。	△ やや取り組みに遅れている	こどもの読書に関わる地域団体やボランティアについて特に市内団体に関して情報収集に務め、各団体との連携、ネットワークづくりを行います。	継続
キ	29	生涯学習出前講座の実施	依頼を受けて、市立図書館司書が講座を実施します。適宜内容の見直しを行うとともに、情報発信に努めます。	中央図書館	各館でのリーフレット設置や図書館ホームページへの案内掲載等の周知のほか、中学校・高校・子育て関連施設等への情報提供について関係課と連携して取り組みます。	依頼がなかったため、実施していません。講座の内容や周知方法や情報提供について、検討します。	△ やや取り組みに遅れている	引き続き各館でのリーフレット設置や図書館ホームページへの案内掲載等を工夫して周知する他に、中学校・高校・子育て関連施設等への情報提供について関係課と連携して取り組みます。	継続
ク★	29	関係機関等との連携・協力・共創	おにクルを中心として、関係機関との連携により、イベント開催や、本の提供、本の紹介など、読書にふれるきっかけづくりの場を創出します。	中央図書館	ブックスタートや、わっくるでの「絵本でほっこのり日」など、関係機関と連携した取り組みを行い、本と人をつなげる場を広げていきます。また、市内で行われる各行事のテーマに関連した特集コーナーを設け、イベント分野の本に関心を持っていただき、より多くの市民に向けて読書につながるきっかけ作りをします。	他課との連携や、他施設からの出展要請により、図書館外でのおはなし会やイベントを実施しました。また、市民からの企画を実施したり、市内で行われる各行事のテーマに関連した特集コーナーを設け、関連書籍の特集を行いました。	○ おおむね順調に取り組んでいる	引き続き関係機関と連携し、連携特集やイベントを実施しながら、本や読書に触れる機会を提供します。	継続

こども読書活動推進の令和7年度取組実績と令和8年度取組

	ページ	取組	内容	担当課	令和7年度取組内容等	令和7年度取組実績と課題等	取組状況	令和8年度取組内容等	令和8年度取組区分
(2)こどもの読書に関わる人材の育成									
ア	29	保育士・幼稚園教諭の読み聞かせ技術の向上	絵本をテーマにした研修会を市として設けたり、積極的に絵本に関する研修会への参加を促し、定期的な情報のアップデートを行っていきます。研修会の知識を職員全体で共有できるような機会を設けます。	保育幼稚園総務課	絵本や視覚教材に関する研修会・研究会に積極的に参加できるよう職員に周知します。また、研修会などで得た知識や情報を教職員間で共有します。	絵本や視覚教材に関する研修会・研究会の周知とともに、参加できるようすすめました。また、研修等で得た読み聞かせの向上につながる知識や情報を教職員間で共有しました。	○ おおむね順調に取り組んでいる	絵本に関する研修会や研究会の継続的な参加をすすめていきます。こどもの興味や関心を持てるような絵本の読み聞かせの仕方について教職員間でも共有して行きます。	継続
イ	29	学校図書館に関わる人材の知識・技術の向上	定期的に研修を行い、司書教諭、スクールサポーター、学校図書館ボランティアの知識・技術の向上に努めます。	学校教育推進課	年間2回の司書教諭等・メディアサポーター研修会を開催し、専門性を高めます。	メディアサポーターを対象に、研修会を開催し、絵本を活用して子どもたちの読書活動にアプローチする方法について考えたり、選書サポートのポイントについて確認したりしました。また、司書教諭等連絡会では、百科事典での調べ学習を行う実践について、学識を招き効果的な活用についてワークを行いました。	○ おおむね順調に取り組んでいる	司書教諭等やメディアサポーターを対象とした研修会を継続実施し、読書活動の推進や学校図書館運営に関する専門性の向上を図ります。	継続
ウ	30	児童サービス担当職員のスキルアップ	図書館内で研修を行うとともに、外部研修に積極的に参加し、知識・技術の向上に努めます。	中央図書館	図書館内で職員研修を行うとともに、オンライン研修など外部研修にも積極的に参加し、知識・技能の向上に努めます。	図書館に新しく配属された職員に対し研修を行いました。外部研修やオンライン研修には積極的に参加し、知識・技術の向上に努めました。(12回、18人)	○ おおむね順調に取り組んでいる	図書館内で職員研修を行うとともに、オンライン研修など外部研修にも積極的に参加し、知識・技能の向上に努めます。	継続
エ	30	おはなし会ボランティアの技術向上	おはなし会ボランティアの技術向上のため、定期的に研修会を実施します。	中央図書館	ボランティアの技術向上のため研修会を実施します。	技術向上研修会を1回実施しました。	○ おおむね順調に取り組んでいる	令和4年の入門講習会以降、退会者も出ているため、新たに入門講習会を開催し、人員の補充を行い、引き続きボランティアの技術向上のため研修会を実施します。	継続
オ	30	研修会の情報提供	府立図書館の研修会等のお知らせを学校やボランティア、関係課等に情報提供します。	中央図書館	府立図書館等で開催される研修会や講座等について、学校やボランティア、関係課等に情報提供します。	府立図書館等で開催される研修会や講座等について、学校やボランティア、関係課等に情報提供しました。	◎ 順調に取り組んでいる	引き続き、府立図書館等で開催される研修会や講座等について、学校やボランティア、関係課等に情報提供します。	継続